

# 「みんな」が生きやすい地域は、 「みんな」でつくるもの

## 〜今年から始まった重層的支援体制整備事業の紹介〜

さまざまな問題をかかえ、生きづらさを感じている人が増えています。そうした人たちへの相談体制を充実する取り組みを始めました（重層的支援体制整備事業）。

この取り組みで、特に大事にしているのは、生きづらさをかかえている人も社会の大切な構成員だ、ということなのです。

この取り組みは、相談体制の充実だけでなく、生きづらさをかかえる人が「ともに生きる人」として、地域社会で生活し、自己実現ができるよう、「やさえあいの地域づくり」もすすめるのが特徴です。

そんな「やさえあう地域」は、「みんなが生きやすい地域」でもありません。必要なのは、「みんな」の力です。

「みんな」が生きやすい地域は、「みんな」でつくるものです。

「ひとりで見る夢は、それは夢にしか過ぎない。  
しかし、みんなで見る夢は現実となる」  
（ジャーナリスト エドワード・ガレアーノ）

**Q.この事業は、地域にどんな  
メリットがありますか？**

誰もが、生きづらさを感じる状態になる可能性があります。そのような状態になっても、生活課題を受け止める体制があることは安心感につながります。支え合いの地域づくりを進めることは防災など、さまざまな面で「持続可能な地域」をつくっていくうえでメリットがあります。

# 重層的支援体制整備事業は 3つの取組みで構成されています。

- 孤立
- 不登校
- ごみ屋敷
- ひきこもり
- 体調不良
- ヤングケアラー
- もの忘れ
- 育児不安
- 生活困難

## ① 総合相談事業

相談体制の充実をします

本人・世帯の特徴に関わらず  
丸ごと受け止める相談支援

## ② 参加支援事業

孤立した人を  
地域につなぎ戻します

本人・世帯の状態に合わせ、  
地域資源等を活かしながら、  
社会とのつながりを  
回復する支援

## ③ 地域づくり事業

ささえあいの  
地域づくりを進めます

地域社会からの孤立を防ぐとともに、  
地域における多世代の交流や  
多様な活躍の機会と役割を  
生み出す支援

とくに、  
地域づくりは、  
地域のみなさんと  
すすめたいです。



▲ささえあいマップづくり



▲防災士による家具の固定

さあ、みんなで始めましょう。

すぐにでも始められる

ささえあいの地域づくり、あれこれ

ささえあいの地域づくりのために、みなさんで  
できることをいくつかあげました。

- 地域の中で積極的にあいさつをしましょう。
- 自分が困っていることを見守る人に「困っている」と伝えましょう。
- ささえあいマップづくりを開催し、誘い合って地域みんなで参加してみませんか。
- ぐらしのサポートセンターの活動を理解し、立ち上げや運営に協力しましょう。
- 地域の行事やつながりを大事にして、次世代につなげる取組みに努めましょう。
- サロンや地域食堂を開催し、参加を呼びかけ地域でなじみの関係をつくりませんか。
- 住民同士のコミュニケーションを増やし、気軽に話し合える雰囲気づくりを進めましょう。



▲ぐらしのサポートセンター飯田設立総会

お問い合わせ

健康福祉課

☎0973-76-3821